

奥久慈・ハイキング

T野

2023年11月25日-26日

メンバー： T野・H口Y・T中M・N口



先週に引き続き2週連続で訪れた奥久慈。勿論、目的は紅葉だ！！今回のメンバーは、一応、全員奥久慈経験者だが、覚えているかどうかという話は別だ。ホリホリは旨いラーメン屋があったことは強烈に覚えているが細かいことまでは・・・？という感じだし、mさんはそもそも体験したことは、どんどん忘れて上書きするタイプだから、奥久慈は初体験みたいなものだろう。ただ、N口さんはブログも書いているし、ほんの3年前、2020年に同行しているのだから覚えているだろう。であれば、N口さんが未踏のルートに行くことにしよう！！天気予報を見ると11/25は良い天気恵まれそうだが11/26は曇りマーク、であれば、月居山と甲乙つけがたいモミジの森がある明山の周遊を11/25にして、青空に映えるモミジを堪能して、11/26はハイグレードハイキングを楽しめる湯沢源流～籠岩を周遊することにしよう。



■写真上 歩き出してからすぐに赤い花火のような紅葉がお出迎え。

■写真下 降り切った場所は亀ヶ淵。

11/25 武生神社～竜神川～明山周遊

早朝6:40にT野自宅に集合。ホリホリにmさんとN口さんをピックアップして来てもらう計画だ。いろいろあって多少遅れたが、なんとか7:30出発。朝発はこれが怖い。常磐道は幸いな



ことに渋滞はなく順調に走る。ここを順調に走れば半分成功したようなものだ。日立南太田で高速を降りて、コンビニで朝食「あー腹減った！！」行動食も購入して入山口の武生神社に向かう。今年8月に、アブ地獄を味わった竜神川と同じ入山口なので迷わずに9:45に到着！！やはり、T野家からの奥久慈は奥多摩に行くよりも近い！！

さて、準備して10:05出発。このルートの最初は竜神川に向けて標高差約250m下降から始まる。歩き始めるとすぐにモミジの紅葉がお出迎え。まるで花火のようにあちこちにポツポツと赤く色づいたモミジに心が弾む。30分ちょっとで亀ヶ淵へ。8月はここから遡行開始で、この淵を泳いで突破したが今はもう晩秋、淵は静かに水を漂わせているだけである。



淵の手前を飛び石や流木を利用して渡渉。女性陣は万が一を嫌い、左から大回りして橋を渡ってきたが、その道も木製の階段が壊れていて結構きわどい。どうやらこのルート、あまり歩かれていないようだ・・・と思うと、やけに立派な道標が現れ・・・！！なんとも不思議な道である。今回歩いたルートの全体に言えることだが、なくても良いところに立派な道標があって、「ここは欲しいなあー」というところにはなにもない・・・。「わざとルーファイカを試しているのか？」と思わせるようなルートである。（それはそれで面白いのだが・・・）



■写真上 日差しに輝くモミジが美しい！！

■写真中 モミジの巨木の森が広がる！！

■写真下 三葉峠にて紅葉を満喫！！



さて、明山へは先ほど下った分とほぼ同じくらいの登り返しだ。この辺りからいよいよ奥久慈ワンダーランドの真骨頂！！素晴らしいモミジの森である。先週は初々しい「七分染め」だったが、今週はまさに満開！！見頃である。この辺りのモミジは巨木が多く、



森としても見応えがある。そして、稜線に上がると三葉峠、2021年に訪れて紅葉の美しさに大感動した場所だ。この辺りの森の紅葉は、先週行った月居山と甲乙つけがたい奥久慈でも屈指の紅葉が楽しめる。月居山と違うのは圧倒的な人の少なさ。こちらはただ、静寂が支配し、貸切感が強く、僕的にはより好ましい。アツパレな紅葉を前に、皆、写真を撮るのに夢中である。

■写真上左 見上げる巨木の紅葉！！

■写真上右 明山への急登を登る。

■写真下 明山 457m に登頂！！

素晴らしい森を満喫したら、明山を目指そう！！固定ロープがぶら下がる岩混じりの急登でかなりワイルドな道だ。ただ、そこは所詮低山、たかが知れている。ものの15分で狭い明山の山頂に登頂！！奥久慈の山々や竜神大橋、竜神川の深い切れ込みが眼下に開ける。深山の雰囲気漂う山頂だが標高は・・・？というと、わずか457m、低山中の低山である。しかし、少し離れた場所から明山を望むと、とても457mの低山には見えず、その堂々とした山容は風格すらあり、奥久慈の中では名峰中の名峰だと僕は思う。実に良い山なのだ。

さて、下山は左側から回り込む緩いルートがあり、こちらから下山する。三葉峠に戻り、しばらく稜線を辿る。相変わらずのモミジの森に大感動！！展望の良い岩峰にでると明山と竜神川の切れ込みが見渡せ、この辺りは深山幽谷の雰囲気すら感じる。この岩峰から少し下ったと



ころから、我々は稜線を離れ、竜神川に下りる踏みあとを辿る。ここは僕も初めて通る道なので楽しみにしていた。すると、あろうことか、ホントここが凄いことになっていた！！

■写真上 相変わらず素晴らしい！！

■写真中 奥久慈の山並み、右奥の顕著なピークは中武生山かな？

■写真下 稜線途中の岩峰で明山をバックに！！



森の斜面全体が真っ赤に燃えてまさに「山があー燃える♪」の世界である。また奥久慈でスゴイ宝物を見つけてしまった！！ここは登山道というより踏み跡、人通りも少なく、はしゃごうが歌おうが問題なし、自分達だけの世界に浸れる「秘密の花園」ならぬ「秘密の紅葉園」である。稜線から竜神川まで絶え間なく続き、ホント楽しませてもらった。そして、降り立ったところが竜神川。8月にアブと格闘した川も、この時期は平和な小川である。ただ、このルートはちっとも平和ではなく、とにかくアップダウンがスゴイ！！下った分はまた登りである。この辺りのルートは、不鮮明な場所も時折出てくるので注意が必要だ。再びグリーンと登り返すと亀ヶ淵山の分岐である。登るならここから凄い急登だが、ここは全員一致でパスすることにする。ただ、この辺りは奥久慈でも最も山深いところで、破線ルートではあるが、ここから北に延びる踏み跡もあり、中武生山に続いているようだ。そして、この稜線も同





じょうな植生なので、モミジの森の予感がする。今回登らなかった奥久慈の秘峰、亀ヶ淵山同様に次回の楽しみにしておこう。

そして再び急降下！！今度は竜神川の支流に降り立つ。この沢も探検してみたい！！まだまだあるなあー楽しそうな場所が・・・。さて、降りたらまた登る。インターバルトレーニングか！！ホント平坦なところは全くない。ただ、これが最後で約200mの登り返しで漸くゴール！！面白かった！！



■写真上 稜線から竜神川に向かって降りる踏み跡は「秘密の紅葉園」だ！！

■写真下 とにかくスゴイことになっている！！

今日辿ったルートは、アップダウンは激しいが、人も少なく、見事な紅葉が味わえる好ルートでした！！特に後半部は僕も未踏のルートだったので、また新しい宝物を見つけることができ大満足です！！

さて、下山後は、先週も利用した上小川キャンプ場へ・・・。途中、リンゴ農家に寄って獲れたてのリンゴと、作りたてのアップルパイを購入。リンゴはお土産に、アップルパイはその場で、4人で分けていただく。奥久慈はこの時期、里も楽しい。

キャンプ場で手続きしてテント設営後、食事を求めて大子の街へ。ホリホリが楽しみにしていたラーメン屋は閉まっています。結局、道の駅で天ぷらそばを食べたが、

ボリュームがあってエビも大きく美味しかったので、まあ当たりかな。お腹もいっぱいになっ



たのでキャンプ場に戻ってプチ宴会。卓上コンロを暖房がわりに使用したら暖かくて快適！！星が出ていたので明日も晴れるといいなあー。

■コースタイム
 武生神社 (10:05) ~
 (10:40) 亀ヶ淵
 (10:57) ~ (11:35) 三葉峠 (11:48) ~
 (12:05) 明山 (12:15) ~ (12:26) 三葉峠
 (12:33) ~ (12:52) 岩峰 (12:57) ~ (13:35)
 竜神川 (13:48) ~
 (14:04) 竜神川支流

(14:10) ~ (14:50) 宝剣洞展望台 (14:56) ~ (14:58) 武生神社

■写真上 竜神川に下りる斜面は「秘密の紅葉園」だ！！

■写真下左 不動滝と紅葉！！

■写真下右 巨岩帯のゴルジュに向けて出発！！

11/26 つつじヶ丘～湯沢源流～籠岩 周遊



昨晚、星が出ていたので淡い期待をかけたのだが、目が覚めると星は消えていた。辺りが明るくなると、完全なベタ曇りで、いつ雨が落ちてきてもおかしくない天気だ。メンバーのモチベーションは

ガタ下がり。でもまあ、湯沢源流は僕的には奥久慈でも一押し場所なので、雨さえ降らなければ楽しめるはずと思い、計画通り決行することに決めた。先週同様に近くのファミマで朝食を採り、入山地のつつじヶ丘へ。ここから眺める奥久慈の山々は屏風のように立ち上がりなかなかのものだ。「つつじヶ丘」の名の通り、この時期につつじが狂い咲きしている。これは特



別なことではなく、前回、2021年にここを訪れた時も、確か狂い咲きしていた・・・っていうことは「狂い咲き」ではない？ということか。

さて、準備して7:45出発。奥久慈パノラマラインの車道を下って廃墟の横から登山道に入る。沢沿いの道を少し歩けば不動滝だ。水量は少ないが20m位ある立派な滝だ。鳥居があり、不動明王の銅像が岩の上に安置されている。この滝は右岸から超えるが、登山道としては早くもワイルド感満載の道だ。滝上も沢沿いに何となく道はあるが、靴を濡らさないように注意を要する。



やがて登山道は左岸に登っていて沢を離れるが、我々が行く湯沢源流は、このままこの沢を詰めていく。「ここは登山道ではありません！！」という道標がこのルートの入口である。沢沿いに歩みを進めると、すぐに巨岩帯のゴルジュとなり、岩の上を、パズルを解くように進んでいく。陽差しがないのでたいして期待していなかった紅葉だが、



黒っぽい巨岩に赤やオレンジ、黄色が浮かび上がり、それは見事な世界を醸し出している。素晴らしい紅葉と巨岩帯のゴルジュのコラボは、ホントここでしか見ることのできない独特な光景だ。

■写真上 巨岩帯のゴルジュと紅葉！！

■写真中 巨岩！！

■写真下左 見上げる紅葉にウツトリ！！

■写真下右 箆滝と紅葉！！



このルートは奥久慈ワンダーランドの真骨頂！！ギリギリ足を濡らさずに歩ける絶妙な沢ルートである。紅葉とルーファイを楽しみながら登ると、やがて20mクラスの滝が我々の前に立ちはだかる。空にはモミジの花火が上がっていて絶景だ。ここは右岸にある壊れた鉄梯子を慎重に登る。いつから放置されているかは不明だが、すでに鉄がちぎれていたり、ひん曲がっていたりして、全く管理されていないので登るなら完全に自己責任である。あまり体重を預けずに慎重に登ろう。



ここを登ると、沢は少し穏やかになり、ところどころナメ床もあり、やがて森も近くに下りてくる。見上げていた紅葉が目の前に下りてきてこれはこれで美しい！！ところどころにある淵は落ち葉で隠れ、うっかり足を踏み入れようものなら靴下をビショビショに濡らしてしまうので要注意だ。それにしても今年の奥久慈の紅葉は一段と鮮やかである。酷暑とか、雨不足とか、秋になっても高温が続くなどで、今年の紅葉は「外れ」という評価が一般的だったが奥久慈は全く違っていた。過去一番の「大当たり！！」である。



■写真上 籠滝右岸の壊れかけた鉄梯子を慎重に登る。

■写真中 籠滝を越えると森が下りてくる。

■写真下 実際は素晴らしい紅葉の森だ！！

沢の傾斜がなくなってくると360m付近に二俣があり、本流は左俣だが、籠岩にショートカットできるのでここは



右俣に入る。少し行くと悪そうな滝が立ちはだかるので左岸の尾根に逃げることにする。尾根に上がるまではかなり急斜面、立木などを利用して登るが、雪国と違って、中には簡単に折れてしまう立木もあるのでここは注意が必要だ。足を滑らしたら谷底まで止まらない傾斜である。ここは一般登山道とは違って完全に沢登りの高巻きの世界だ。ただ、尾根に上がってしまえば穏やかになり安心して歩けるようになる。この尾根から見下ろす紅葉も素晴らしい！！忠実に尾根を登り、最後は左から回り込むと登山道と合流、ひと登りで笹岩に到着。気づくと何と雨が降っているではないか！！笹岩の少し先の岩峰でいつも休むのだが、そんな理由で今回はパス、歩みを進める。ここからの登山道はキレットが2か所あり、一般登山道としてはかなりワイルド、気が抜けない道が続くがそれがまた楽しい！！



■写真上 紅葉の沢を歩く。
■写真中 陽差しがなくてもこの鮮やかさ！！



■写真下 一般登山道とは思えないワイルドなキレットの通過。

慎重にキレットを2つ越えると、素晴らしい錦秋の森が出迎えてくれた！！この辺りも奥久慈屈指のモミジの森だ。特に、明山との分岐点付近は凄いいことになっていった！！天気が悪くて陽差しがなくてもこの紅葉である、陽差しがあったらどんなことになっていたか・・・想像するだけでも楽しい。この森を下っていくと、やがてアズマヤのある展望台に到着。小雨混じりで遠景は効かないものの間近に紅葉に彩られた岩峰を望める。この辺り、結構、山深い感じがするのだが、なぜか近くで犬の鳴く声がある。「野犬がいるのか？」と思ったが、実はものの5分も歩くと突然、集落が現れ、繋がれた飼い犬が鳴いていた。どうやらここが「上山集落」らしい。地図を確認すると、まさ



に集落マークがついている。ずっと深山を歩いていると思っていたのに、何かキツネに抓まれたような不思議な感覚だ。

こんなところに集落が・・・さすが、奥久慈ワンダーランドだ。ただ、集落に出てもこれで終わりではなく、もうひと山超えないと車には戻れない。まさに「お邪魔しまーす!!」という感じで、人家に入っていくような道から再び山に入る。この辺り、道標は全くないので、初めてだと非常にわかりにくい。昨日もそうだったが必要な場所に道標がなく、どうでもよいところに立派な道標があるのが奥久慈である。自分のルーファイカと山勘みたいなものが、どのくらいあるのかが手軽に試せる山域である。山に入れば、ここからはもう道は一本道なので迷う心配はない。先程までの絢爛豪華な錦秋の森と違って、どこにもありそうな里山の森となるが、それも長く続かず、下に車道が見えればすぐに突然、ハイキングが終了する。



■写真上 キレットを越えたご褒美は錦秋の森!!

■写真中 素晴らしい!!

天気が良くなかったのでどうかと思ったが、今日のルートは、(実は僕はもう3回目なのが…)何回訪れても飽きることが全くなく、「紅葉、探検、スリル」のキーワードが楽しめる、少し山慣れた人には自信を持ってお薦めできるルートだと思う。

今回同行していただいたホリホリ、mさん、N口さんもお満悦で、きっと来年も付き合ってもらえそうだ。では、来年のこの時期、また奥久慈でお会いしましょう!!

■コースタイム

つつじヶ丘 (7:45) ~ (8:05) 不動滝 (8:15) ~ (9:00) 籠滝 (9:10) ~ (10:25) 籠岩 ~ (11:34) 展望台 (11:50) ~ (12:25) つつじヶ丘